



基本方針 I : 生物多様性を守り、創ります。

施策の方向性 2 . 保全活動の持続と発展

施策③：生物多様性の保全活動に関するマルチパートナーシップの推進

◆趣旨

生物多様性の保全に関わる活動を推進するため、市民をはじめとするさまざまな個人・団体が協働・連携するマルチパートナーシップにより、これまで進めてきた協働の仕組みを継続・発展させます。

◆取組内容（令和3年度～令和5年度）

- 多様な主体によるマルチパートナーシップを構築するため、情報交換する場を設けます。
- 保全活動に対する地域の理解と協働を促進します。
- 人材育成に向けた講座を充実します。
- より多くの参加を促す講座のあり方を検討します。
- 企業や市民活動団体などによる生物多様性保全に貢献の高い活動の促進と支援を行います。

◆各主体に期待される役割と市の役割

関連する主体	役割
市民	活動への理解と協力・参加
事業者	CSR（企業の社会的責任）活動の推進
大学などの研究機関	活動への助言・協力・参加
市民活動団体	活動の推進
藤沢市	活動の促進・支援

◆実行プランに位置づける藤沢市の目標設定

取組内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1. マルチパートナーシップ構築のための情報交換の場の設置	検討	試行	試行
2. 協働による保全活動の推進	実施	実施	実施
3. 人材育成に向けた講座の開催	実施	実施	実施
4. 生物多様性の保全に向けた講座の検討	検討	実施	実施

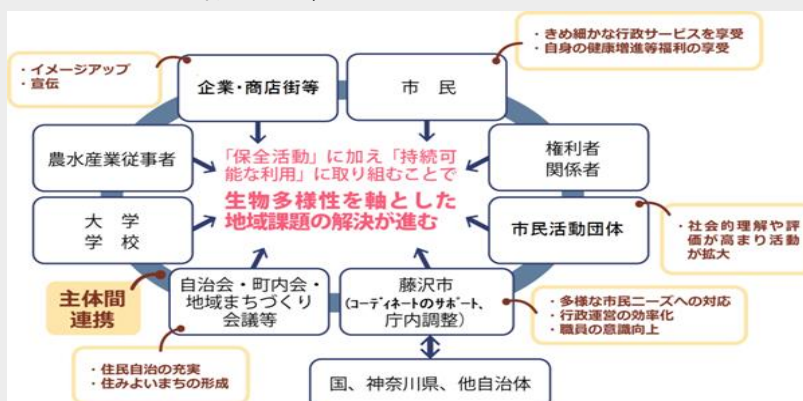
※ 他の施策と共通性の高いものについては、併せて実施する場合があります。

◆「藤沢市生物多様性地域戦略」の取組（独自事業）と既存計画関連の取組（関連事業）との連携を緊密に行うことで、「生物多様性への全ての影響（危機）」の回避を目指します。 ※2 頁参照

◆「藤沢市生物多様性地域戦略」の取組（独自事業）

(1) 多様な主体による情報交換の場の設置
<ul style="list-style-type: none"> ● 重点プログラムである（仮称）生物多様性センター機能及び同サテライトセンター機能の構築を図り、市民、市民活動団体等、行政等が相互に情報交換を行う場を設置します。 ● マルチパートナーシップの構築に向け、多様な主体のそれぞれのニーズを把握し、主体間のマッチング等の取組を推進します。 （担当事業課：みどり保全課）
(2) 保全活動に対する地域の理解による協働の促進
<ul style="list-style-type: none"> ● 生物多様性の保全に関わる市内の活動について広報等を通じて広く紹介するとともに、活動場所の周辺住民に対しては、活動内容の周知に努めます。 ● 生物多様性の保全に関わる活動に対する地域住民の理解を深めるための調整・支援を行います。 （担当事業課：みどり保全課）
(3) 人材育成講座の充実
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民活動団体との協働により実施している「里山ボランティアリーダー養成講座」等を継続的に実施します。 ● 県や近隣市町、大学との連携による講座の相互活用を図ります。 ● 市民活動団体等と連携し、講師やアドバイザーの派遣を行います。 （担当事業課：みどり保全課）
(4) 多様な主体による生物多様性保全に貢献度の高い活動の促進と支援
<ul style="list-style-type: none"> ● 保全活動等を行う団体等への表彰や広報等を検討し、貢献度の高い活動を促進・支援します。 （担当事業課：みどり保全課）

◇ マルチパートナーシップの概念図 ◇ 出典：藤沢市生物多様性地域戦略



主体間の相互理解や各主体の自立化、活性化を進め、上図のような各主体が「1 対多数の主体」の関係の形成を図り、生物多様性に関するマルチパートナーシップの構築を目指します。